

## Techミーティング

鹿児島大学の研究者と対話できる「場」を定期的で開催し、産学連携のきっかけをつくることで  
企業の抱える技術的な課題解決をサポートし、新しいビジネスの創出を目指します。

大学の研究をあなたのビジネスに活かしてみませんか。

《第8回》

2024年

日時

2月15日(木)

15:30~17:00

場所

ソナーかごしま  
鹿児島市役所みなと大通り別館6階  
(鹿児島市易居町1-2)

対象

産学連携に  
興味のある事業者



定員/  
10名  
参加費無料!

## 発表テーマ

## 海に囲まれた環境を健康に生かす



## PROFILE

鹿児島大学病院  
地域医療支援センター 特任教授、センター長

## 嶽崎 俊郎 氏

長崎大学医学部卒。1982年鹿児島大学病院小児科勤務。鹿大病院の他、曾於郡や串間市、上天草の医療機関で小児科医として勤務し、90年に医学部助手。91年にJICA専門家として中国に派遣。93年から愛知県がんセンター研究所(主任研究員、室長)でがん予防の研究に従事。2003年に鹿児島大学大学院医歯学総合研究科・離島医療学(後に国際離島医療学)の教授に就任。22年3月に定年退職し、同年4月から鹿児島大学病院・地域医療支援センター・特任教授に就任し、現在に至る。

## 研究シーズの概要

離島では、暮らしを楽しむ中で知らないうちに健康に良い効果が享受されています。今回、あまみ島嶼地域における生活習慣病予防に関する研究として、和泊町、奄美市、瀬戸内町、与論町での海水プールでの運動を主とした海洋療法(タラソテラピー)と島踊りを組み合わせ、実際に体験してもらった人々の健康指標の変化(効果)を紹介します。また、10年以上に渡って追跡調査したハンダマやトウガン、黒糖といった奄美特有の食材の健康への効果をまとめた研究結果(死亡やがんリスクの低下)も併せてお示しします。離島生活の有用性や海水を使った健康増進法について知ってもらうことで、ヘルス・ツーリズムなどの観光PRや生活習慣病予防に向けた取り組みにつなげていけたらと思います。

申込みはこちらから



《主催》鹿児島市  
《共催》鹿児島大学 南九州・南西諸島域イノベーションセンター  
<https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/techmeeting.html>

「かごしまTechミーティング」運営事務局  
(株式会社 鹿児島銀行地域支援部地域開発室内)  
TEL:099-239-9718(直通) FAX:099-223-0852 E-mail:kaihatsu@ml.kagin.co.jp